

# 岡山大学のミッション、ビジョン、バリュー、ストラテジー

## 1 ミッション “高度な知の創成・創発・継承を通じた、人類社会の持続可能な未来の実現”

岡山地域は、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」創建、備中松山藩の財政再建・教育改革など、社会課題に向き合ってきた歴史と、人・物・文化が交わる要所として多様な交流が育まれてきた地理的特色を有しています。

岡山大学は、「研究大学」として、こうした地域の歴史と特色を背景に、多様な知と人材が集い新たな知を生み出す知の交差点となり、高度な知を生み出し(創成)、分野を越えて知を融合し発展させ(創発)、未来を担う人材を育てることでその知を次世代へと受け継いでいきます(継承)。そして、学内から地域、世界へと広がる多様なステークホルダーと共に地球規模の課題解決に取り組むことで、持続可能な未来の実現に貢献します。

## 2 ビジョン “地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学”

本学は、そのミッションの達成に向け、長期的な気候変動対策の目標である 2050 年をターゲットイヤーと定め、「岡山大学長期ビジョン 2050：地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」を掲げています。この長期ビジョンは、本学が研究力・イノベーション創出に活動の根幹を置き、世界と伍し、地域の中核となる研究大学として歩みを進めた先、2050 年に目指す理想像を表したものです。

地域の中核となる研究大学として、学内外のあらゆるステークホルダーと志を共有することで、地域と地球の「ありたい未来」を共創し、持続可能な社会の実現に貢献する姿。世界と伍する研究大学として、新たな価値創造と世界の革新に貢献する人材となる「主体的に変容し続ける先駆者」を育成し、研究力・イノベーション創出の強化推進を通じて、世界の革新に寄与する姿。

本学は、この二つの側面をもつ研究大学として未来を切り拓いていきます。

## 3 バリュー

本学は、ビジョンの実現に向けて構成員一人ひとりが日々の行動において大切にしている共通の指針（バリュー）として、「未来志向」「挑戦」「インクルージョン」を掲げました。

広い視野で未来を見据え（未来志向）、その未来に向けてまず一歩を踏み出すこと（挑戦）によって、学内外すべてのステークホルダーの Well-being を追求します。こうした思考と行動を支える基盤として、多様な価値観を尊重し、誠実な対話を通じてステークホルダーとの相互理解を築くこと（インクルージョン）を大切にします。

また、本学のバリューは岡山大学長期ビジョン 2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」と密接に結びついています。多様な価値観を尊重し、ステークホルダーと対話を重ねる姿勢は、地域と地球の未来をともに形づくるための土台となり、未来を見据えて果敢に一歩を踏み出す挑戦は、世界に革新をもたらす原動力となります。

## 4 ストラテジー

本学は、これまで「岡山大学長期ビジョン 2050」の実現に向け、第 4 期中期目標期間において「岡山大学ビジョン 3.0」を掲げ、改革と挑戦を重ねてきました。その取り組みを発展的に継承し、第 4 期中期目標期間の残期間（2025～2027 年）における戦略として策定したのが、「未来共創戦略 2025-2027」です。

本戦略は、「教育・人材戦略」「研究・医療戦略」「環境・基盤戦略」の3つを柱とし、大学の中核機能を横断的に強化・推進する枠組みであり、多様な構成員の主体的な参画を原動力として、長期ビジョン 2050 の実現を力強く進めていきます。

## 岡山大学の教育における方針

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

## 歯学部教育理念・目標

歯学部は良き歯科医療人を育成し、歯科医学を研究、発展させることを目的としています。社会のニーズの多様化と国際化が急激に進む中で、歯科医療もますます高度化しつつあります。歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視した人材育成を行っています。

歯科医学は幅広い総合的な学問領域です。歯学部では自然科学から人文、社会科学的な分野の教育、研究も行われています。文系、理系に関わらずさまざまな学生が活躍できる学部です。